電設新聞

発行所
社団法人
福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
郵便番号 960
福島市松浪町9－6
（福島県電協会館）
電話（0245）33-6226
編集印刷㈲福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

電気設備
住宅設備機器
コーディネーター OKADA
岡田電気産業株式会社
本社＝いわき市平谷川瀬字明治町二七
営業所＝原町（〇二四四）二五－六一一一
白河（〇二四六）二五－六一一一
須賀川・郡山南・郡山北・会津
相馬・福島東・福島・いわき南
勿来・他県外十二ケ所

金銭的保証メインに

県の新履行保証改正説明会

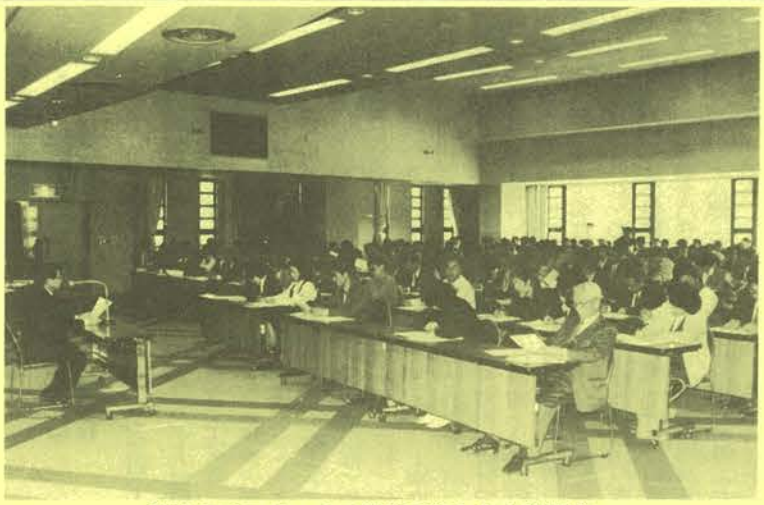
県は入札・契約制度改善の一環に四月一日付けで公共工事におけるこれまでの履行保証制度から金銭的保証をメインとする新たな履行保証制度に移行することに伴い、三月二十七日から四月四日までの日程で県内各地において〝公共工事における履行保証制度の改正説明会〟を実施した。履行保証措置の選択肢の一つとして履行保証証券を導入するほか、保証会社が行う〝履行保証〟も金銭保証の一つに位置付けた。なお、契約金額が五百万円未満の工事は無保証となった。

契約額五百万円未満の工事は無保証

今回の改正内容についての説明会は、三月二十八日にユラックス熱海、同二十九日にサンピア会津、四月二日にはいわき市文化センターと富岡町文化センターで、そして同四日には県文化センターで実施された。説明会ではまず、県土木部監理課の渡部秀樹主任主査兼経理第二係長が福島県工事請負契約約款の改正について説明し、①工事完成保証人制度の廃止②新履行保証体系は金銭的保証を原則とする（履行保証措置のいずれかを請負者が自由選択できる）③履行保証措置選択肢に新たな履行ボンドを導入（役務的保証措置は例外的に扱う）④保証事業会社が行う契約保証も金銭保証の一つとして導入⑤契約金額五百万円未満の工事は無保証－などを詳細にわたって説明した。

また、契約関係の明確化等（甲乙協議手続きや手続き規定、契約基本事項、さらに費用負担と基準、管理責任、文言および履行報告の明確化）についても国に準じて改正されたほか、この契約関係の明確化以外にも①共同企業体の特則を設定②不可抗力による損害についての発注者負担額は損害額と取片付け費用の合計金額の百分の一を超える額と改正③解除要件の拡充④仲裁合意の明確化⑤火災保険取り扱いは県を受取人としなければならなかったが、県への提出で足りるものとなった⑥その他履行保証制度の改正に伴う条項の整理－等をまとめた。特に新たな履行保証体系では無保証、金銭的保証または役務的保証の選択は発注者が行い、発注者が金銭的保証を選んだ際は請負者が契約保証金、国債等の有価証券、金融機関等の保証、そして履行ボンド（付割合の低いもの）の中から選択することなどを事細かに説明した。

引き続いて三瓶勝衛東日本保証㈱次長が〝契約保証〟について、さらに塚本宏日産火災海上保険㈱経理課長が〝公共工事履行保証証券〟について説明した。公共工事履行保証証券は保証金額を限度に、公共工事の請負契約上の債務履行を保証人が保証するもので、請負者に債務不履行が生じた場合、保証人は代替業者を選んで工事を完成させるか約定された保証金を支払う保証債務履行の義務を負う。



郡山市のユラックス熱海で行われた説明会

原価管理をテーマに

中堅技術者研修会行う

本協会はさる二月十五、十六の両日、福島市飯坂町のみちのく荘で第十四回中堅技術者研修会を開催した。これは電気設備の高度化や複雑化、システム化に伴い施工技術の向上が求められる中にあって会員企業の現場代理人や主任技術者、監理技術者を対象に毎年テーマを決めて実施しているもので、ここ数年は技術者同士のコミュニケーションを向上させ工程管理を向上させることを重視し、現場で当面する課題を取り上げ討論を行うなど、座学からの脱皮を図っており、今回は県内各地から三十人が出席した。

この研修会では、はじめに松崎勉会長が電気設備工事業界の歴史と協会の沿革について説明、地元業者が置かれている立場や直面している課題、協会が組織的に行っている活動など紹介すると共に、「分離発注実施と自主施工管理によって業界は発展する」と協会の姿勢を示した。続いて、上野修県土木部都市局営繕課長が「建設工事におけるコスト管理」について講話を行った。

上野課長はこの中で、「建設市場を取り巻く国際環境が大きく変化しており、入札契約制度が抜本的に見直される一方で、県においても設計分野では外国企業の参入がはじまった（今年一月からのWTO政府合意により）施工の分野での国際化も目前にあり、地方企業においても対応が求められている。特に海外資材の利活用面では具体的に取り組まなくてはならない段階であり、現場の第一線で活躍する皆さんにも新しい感覚を身につけていただきたい」と語ると共に建設産業政策大綱にも触れ、「元下契約における透明性の確保や施工を効率化することで、より良い成果品を完成させるために〝バリュー・エンジニアリング〟の観点が必要」と強調した。

また、午後からは原価管理について三瓶良孝副会長が講話を行ったのに続いて、県土木部都市局営繕課の伊藤俊一専門電気技師兼設備第一係長の指導で参加者が三班に別れ現場での原価管理をテーマとしてブレーンストーミングを行い、情報の分析法や会議での発言方法に磨きをかけるとともに、積極的に意見を交換した。翌日は、技術委員会が昨年実施した阪神大震災被災地リポートを題材に、これを担当した技術委員三人が発表を行い、被災地の状況や復旧の経過を踏まえて災害に強い電気設備の施工を研修し全日程を終えた。

2日間にわたって実施された研修会

体験発表会六月に

7年度最終技術懇談会

平成七年度の最終となる技術懇談会を三月四日、福島市のホテル辰巳屋において開き今年度に行った講習会や研修会の反省と今後の計画について検討および協議した。

まず、八年度で第十一回を迎える施工体験発表会については、福島市の六洋電気（県立御山小学校建設工事）が、さらにいわき市の小名浜電設（県立湯本高校大規模改修工事）、そして会津若松市の目黒工業商会（県立病院改修工事）らの技術者三人が品質・工程・安全管理をテーマに発表する。開催日は六月二十一日に福島市の青少年会館で実施することとなった。

また、技術講習会に関しては従来通り建設省や県土木部営繕課に外来講師を依頼して協会独自の発表を計画していく方針。

一方、九月中旬を予定している現場研修では郡山市の免許センターを視察するほか、十月をメドに準備が進められている中堅技術者研修会においては入社五～七年程となる二級施工管理技士などを対象に技術力アップを図る。

なお、NHKから依頼のあった衛生放送受信講習会の開催については福島・郡山・いわきの三方部で五十名程の受講者を対象に実施する予定。

5月15日まで受付

労保の年度更新業務

平成八年度労働保険の年度更新を行う時期がきた。四月初めに福島労働基準局か、県商工労働部雇用保険課から送付された申告書用紙と記入要領をよく読んで5月15日までに最寄りの金融機関、郵便局、労働基準監督署、福島労働基準局または県雇用保険課で手続きするようにしましょう（期日までに申告可能なように〝賃金台帳等〟を整備しておく）。自主申告・自主納付が原則となっている。

労働保険料（前年度確定保険料と当年度概算保険料）を自主的に申告・納付する手続きが五月十五日の法定期限までに履行されることで労働保険業務の円滑な推進が図られることとなる。

National 松下電工
革命。
ニュートラルスイッチが、ここから消える。だから、ここでの結線がなくなって省施工。
ニュートラルスイッチはJIS協約形の1Pブレーカと一体化。
これにより大幅な省施工を実現。
①VVFケーブルの股さきがわずかで済み、結線時間を約25%も短縮（当社比）。
②ケーブル廃材が約1/6に減少（当社比）。掃除がらくで、資源のムダ使いも低減。
③結線時に面倒なブレーカとニュートラルスイッチの番号合わせがまったく不要。
④保守点検時の回路確認もスピーディ。
⑤ニュートラルスイッチスペースがいらず小型・軽量化も達成。タテ寸法で最大300㎜もコンパクトに（100A、40回路の場合）。
さらに漏電保護付・漏電表示付は1Pサイズに（100V）。
①同一回路数でボックスを大幅に小型化。
②1P配線保護用を漏電保護付に変更するときは、配線保護用を外し、そのまま取り付けるだけで作業が完了します。
▲NS付ブレーカ搭載アロー盤
▲従来タイプ
協約形ニュートラルスイッチ
漏電保護付・漏電表示付
配線保護用
省施工新標準
NS付ブレーカ搭載 アロー盤
A&i 快適を科学します
●商品のお問い合わせ・カタログのご請求は、
〒963 福島県郡山市朝日2-5-15 松下電工・福島営業所
TEL(0249)39-7731 FAX(0249)39-4777

県の営繕事業

八年度351億円受託

産業見本市会館など着工

県営繕課はこのたび、平成八年度営繕事業概要をまとめた。八年度の受託（営繕・土木）事業は、工事については三百九十一件三百三十五億七千八百五十二万円で、設計および調査委託には百四十八件十六億一千百六十四万円が計画されている。内訳では工事が知事部局で二百七十件（工事二百五件委託六十五件）の百七十二億九千八百万円で、教育庁が二百九件（工事百三十八件、設計七十一件）の百五十億七千万円および県警本部で六十件（工事四十八件、設計十二件）の二十八億二千二百万円となっている。

ポスト国体として大規模事業となる産業見本市会館（仮称）をはじめ、県立医大看護学部や県民の森オートキャンプ場などに着手するほか、海洋文化学習施設（仮称）や女性総合センター（仮称）などの実施設計に入る。工事は三百九十一件でおよそ三百三十五億七千八百万円、設計や調査委託では百四十八件の約十六億千二百万円の計五百三十九件、約三百五十一億九千万円と、七年度当初に比べ大幅な増加となっている。内訳は知事部局での工事が二百五件で百六十五億千二百万（七年度当初は二百七件の七十二億八千八百万円だった）、委託が六十五件、七億八千六百万円（同四十六件、六億千八百万円）、そして教育庁関連工事が百三十八件で百四十三億千九百万円（同百五件、百二十一億六千五百万円）、委託が七十一件、七億五千百万円（同七十七件、七億四千三百万円）、さらに警察本部関連工事で四十八件の二十七億四千七百万円（同三十六件、四十八億六千六百万円）、委託が十二件の七千五百万円（同三件、二千三百万円）。

なお、新規事業には防災上重要建築物耐震対策事業も実施される。

主要な工事などは次の通り（面積単位は平方㍍）。

▽県立医大看護学部棟（福島市）SRC造6F（地下1F）建一二、九一八

▽同図書館増築（同）RC造一、四〇六

▽同講堂設計委託（同）SRC造2F一、七五四

▽同看護学部関連施設整備造成（同）二七、〇〇〇

▽同教員宿舎建設（同）RC造3F二、九〇七

▽大森職員公舎新築（同）RC造3F九九四

▽田島職員公舎新築（田島町）RC造3F一、一四四

▽女性総合センター設計委託（二本松市）

▽ヘリポート基地整備（玉川村）用地造成のべ一一、〇〇〇

▽尾瀬沼園地整備（檜枝岐村）便所外W造1F一二四

▽尾瀬歩道整備（同）水道橋梁

▽ばんだい学園改築実施設計委託（猪苗代町）RC造1F四、三一五

▽浪江救護院移転改築（浪江町）RC造1F三、四三〇

▽県産業見本市会館（仮称）建設（郡山市）S造4F一七、四〇〇

▽県民の森オートキャンプ場建設（大玉村）W造

▽埒浜排水機場建築（新地町）RC造1F三三二

▽あぶくま高原自動車道建設事務所整備（平田村）RC＋W造2F九四五

▽いわき公園整備（いわき市）

▽県海岸文化学習施設（仮称）実施設計委託（同）RC、S造4F一二、四〇〇

▽いわき少年自然の家建設（同）RC造3F六、五九六

▽郡山養護学校校舎等改築設計委託（郡山市）RC造3F一三、五六〇

▽安達東高校校舎増築設計委託（安達町）RC造2F九〇〇

▽双葉農業高校校舎増築設計委託（大熊町）RC造3F二、〇九五

▽福島農蚕高校実習棟新築（福島市）RC造3F二、四七三

▽福島西高柔剣道場新築（同）RC造1F六三一

▽安積女子高校プール改築（郡山市）SUS造二五

▽光南高校校舎増築第二期（矢吹町）RC造3F一、一四七

▽会津高校体育館改築（会津若松市）SRC造2F一、四七五

▽勿来工業高校産振棟改築（いわき市）RC造4F一〇、九一八

▽高校等県立学校大規模改造（県内一円）RC造三十三カ所

▽郡山運転免許センター庁舎新築（郡山市）RC造3F七、五四八

▽川俣警察署新築（川俣町）RC造3F一、六八四

▽ヘリコプター格納庫等改修（福島市）S造2F四一七

▽県警装備センター（仮称）庁舎新築設計等委託（同）RC造2F一、三五〇

▽いわき待機宿舎新築（いわき市）RC造4F二、七三六

▽警察署各所駐在所（県内一円）六カ所

▽やさしいまちづくり事業（県内一円）十七カ所

▽県有施設冷房設備整備（県内一円）十三カ所

▽県防災上重要建築物耐震対策（県内一円）百九件

地元活用を要望

福島空港滑走路整備で

本協会の松﨑勉会長をはじめとして佐藤春雄・三瓶良孝・中島幸一の三副会長、そして秋吉政則専務理事が三月五日に県庁を訪れ、県土木部に対して福島空港滑走路延長事業の電気設備工事において地元業者を活用するよう陳情を行った。県側からは陽田正夫・渡辺一雄両次長、そして戸田和彦空港建設課長及び上野修営繕課長らが対応した。

先ず、松﨑会長が二、〇〇〇㍍滑走路整備工事において地元電気設備工事業界の活用に対して感謝の意を示すと共に、現在も電設業協会会員企業の出資による福島空港メンテナンス㈱が年間を通じてメンテナンスをしっかり実施していることを報告した後に「景気回復の恐れから民間建築が低迷している折りでもあり、この事業においても地元業者の活用を是非お願いします」と陳情内容を説明した。

これに対して陽田次長は、「空港滑走路延長事業は順調に進展しており、これまで同様に地元で可能な限り地元に発注するスタンスは変わりません」と理解を示すと共に、戸田空港建設課長も「空港施設は完成後のメンテナンスは十分配慮しなくてはならないもの。陳情の趣旨に沿ったかたちでやっていけると確信している」と力強い回答が得られた。

地元優先活用望む

建産連で松﨑会長らが

㈳県建設業協会と㈳県建設産業団体連合会は三月二十二日に県庁を訪れ、県土木部に対してトライアングルハイウェイ建設事業と産業見本市会館建設事業における県内業者の優先活用を求める陳情を行った。この日は、建設業協会の目黒和夫・佐藤勝三両副会長が、建産連としては県土地改良建設協会長の菊地清会長代行をはじめ、大堀浩県測量設計業協会長や塙正光県空調衛生工事業協会長らが同行、本協会からは松﨑勉会長が出席して志摩茂嘉部長をはじめとする土木部幹部らに陳情内容を説明した。

設備2団体で建設業協会に共同要望

本協会と㈳県空調衛生工事業協会（塙正光会長）は三月二十五日、㈳県建設業協会に対して福島県建設センター会館（仮称）建設事業における電気・機械設備の分離発注と地元業者の活用について陳情した。この日は松﨑、塙両会長らが福島市内で建設業協会の長谷川隆弘会長代行と遠藤勝男専務理事に会い、「景気の低迷によって民間設備投資は回復せず、業界は厳しい環境におかれている。新会館の建設に際してはぜひ分離発注と地元業者の活用をお願いしたい」と要望の趣旨を説明した。

これに対して長谷川会長代行は、「友好団体である両団体の意に沿うよう前向きに検討します」と理解を示した。

これに対して志摩茂嘉部長らは「トライアングルハイウェイは八年度後半にも着工する考えで準備を進めている」と事業の進捗状況を説明したほか、地域活性化へ向け、これまで通りに県内業者を優先活用するという県の姿勢は変わらないが、「WTOによって大型工事は一般競争入札が導入される見通し」との説明が改めてなされた。

知事と共に交歓会

伊東NHK局長講演も

本協会の新年賀詞交歓会が一月二十五日、JR福島駅前にある福島ビューホテルを会場として開催、会には県土木部より陽田・渡辺二次長をはじめ平井参事や近内参事兼土木検査課長、鈴木道路建設課長、高野道路維持課長および宗像建築住宅課長、上野営繕課長など、さらには江花㈶県建設技術センター理事長や小宅県住宅供給公社理事長ら県内各地から関係者や来賓百十人ほどの出席を得た。

冒頭、NHK福島放送局の伊東律子局長による新春講演会を実施、〝高度情報化社会と放送〟と題して放送会の企画意図を裏話などをユーモラスに交えて〝人生の写し絵〟としての映像を熱く語った。

交歓会は先ず、松﨑会長が「安全な設備提供に努め、建設産業政策大綱にも掲げられている質の高いより良いサービスをめざしていきたい」とあいさつした。そのほか、来賓として出席していただいた佐藤栄佐久県知事や鈴木武男県議会副議長（山口勇県議会議長代理）らから次々と祝辞を頂戴した。

最後に、県土木部の白石五郎都市局長の音頭で乾杯して和やかに歓談した。

社会のニーズに応え
省エネに貢献する……Aichi
各種トランスの 愛知電機
高圧スイッチの 大垣電機
（発売元）
愛知電機商事㈱ 仙台営業所
仙台市青葉区宮町1丁目1-20
TEL 022-221-5576

三菱照明器具・換気扇
株式会社三菱電機ライフテック東北
福島支店 TEL(0245)34-7121
郡山支店 TEL(0249)59-6060
いわき支店 TEL(0246)26-0211
会津支店 TEL(0242)27-4425
原町営業所 TEL(0244)22-8821

TAKAOKA
フル容量で、フルラインアップ
無停電電源装置
クリーンUPS
●クリーンUPS 3KV
■低損失形変圧器
■課電表示器
■受変電設備、システム製品、水処理その他の環境設備
コンピュータシステムのニーズに応える
株式会社 高岳製作所
福島営業所 TEL0249(33)7709
〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

Nihon Arm
時代や社会のニーズを的確にとらえ、新領域にも対応します。
○住宅用引込ポール各種
○照明用ポール各種
○CATV用ポール各種
○防災無線用等無線ポール各種
株式会社日本アーム
東京本部
〒108 東京都港区芝浦3丁目11番13号(スドービル)
TEL (03)3452-4658(代) FAX(03)3452-4810

土木部次長に坂本氏

平成8年度県人事異動

白石氏

坂本氏

吉田氏

【部長相当職】
▽土木部技監兼都市局長（土木部都市局長）白石五郎▽企業局長（いわき地方振興局長）佐藤正彦

【次長相当職】
▽土木部次長・業務（県中建設所長）坂本晃一▽土木部参事・事業調整担当（河川課長）石井次男▽県中建設所長（いわき建設所長）佐野恒彦▽いわき建設所長（砂防課長）渡辺一也▽土木部参事兼監理課長（監理課長）吉田隆夫▽土木部参事・都市公園協会派遣（土木部参事兼土木検査課長）近内克夫▽土木部参事兼土木検査課長（港湾課長）大越茂俊▽同兼建設技術研究所長（都市局都市計画課長）本田恵一

退職
▽土木部次長（業務）・渡辺一雄

【課長相当職】
▽東京事務所行政課長（秘書課主幹兼課長補佐）小野木武夫▽管財課主幹兼課長補佐・業務（県北建設主幹兼次長・業務）石幡知道▽施設管理課主幹兼課長補佐・総務（リハビリテーション飯坂温泉病院事務長）三浦義勝▽情報管理課主幹兼課長補佐・総務（国体局施設調整課主幹兼課長補佐・総務）船尾兼正▽商工課主幹・財団法人県中小企業振興公社派遣（全国身体障害者スポーツ大会推進室主幹兼室長補佐・業務）鷺博通
◇土木部▽河川課長（河川開発課長）久保木勝重▽河川開発課長（堀川ダム建設所長）小林潤一郎▽砂防課長（南会津建設所長）雨宮宏文▽港湾課長（福島空港管理所長）芳賀政勝▽都市局都市計画課長（喜多方建設所長）坪井正由▽監理課主幹・住宅供給公社派遣（会津若松建設主幹兼次長・業務）原賢▽監理課主幹・県下水道公社派遣（県中建設主幹兼次長・業務）谷田部吉典▽同（土木検査課主幹兼専門工事検査員）三瓶徳寿▽土木検査課主幹兼専門工事検査員（県南建設主幹兼次長・業務）山崎賢治▽河川課主幹兼課長補佐・業務（建設技術研究所次長）吉田好秀▽空港建設課主幹兼課長補佐・業務（空港建設課長補佐・業務）藤田保雄
▽喜多方建設所長（相馬港湾建設所長）田辺宏▽南会津建設所長（施設調整課主幹）長岡勝広▽相双建設所長（道路維持課主幹兼課長補佐・業務）菅野光男▽相馬港湾建設所長（監査委員事務局監査二課主幹兼課長補佐）仙波安弘▽小名浜港湾建設所長（港湾課主幹兼課長補佐・業務）根本勝▽福島空港管理所長（小名浜港湾建設所長）高野勝昭▽空港建設所長（企業局総務課主幹兼課長補佐・業務）菅野保孝▽堀川ダム建設所長（土木検査課主幹兼課長補佐・業務）橋本忠助
▽県北建設主幹兼次長・業務（南会津建設次長・業務兼建築課長）織田文昭▽県中建設主幹兼次長・業務（南会津建設次長・業務）佐々木不二夫▽県南建設主幹兼次長・業務兼建築課長（喜多方建設次長・業務兼建築課長）宮崎貞夫▽会津若松建設主幹兼次長・業務（県南建設次長・業務兼建築課長）篠原拓雄▽いわき建設主幹兼次長・業務（いわき建設次長・業務）甲高利美▽小名浜港湾建設主幹兼次長・総務（木戸ダム建設次長・総務兼総務課長）吉田重勝▽小玉ダム建設主幹兼次長兼総務課長（小玉ダム建設次長・総務兼総務課長）片寄達二
◇企業局▽業務課長（相双建設所長）三野仁▽福利課主幹兼課長補佐・総務（郡山高事務長）佐久間耕実

退職
▽遠藤正信（企業局業務課長）▽佐藤秀雄（管財課主幹兼課長補佐・業務）▽斎藤健秀（監理課主幹・技術審査担当）▽佐藤金男（同・同）▽湯田捷寿（会津若松建設主幹兼次長・業務）

【課長補佐相当職】
▽喜多方建設次長・業務兼建築課長（都市局建築住宅課専門建築技師兼民間住宅係長）池田静男▽南会津建設次長・業務兼建築課長（監理課専門建築技師住宅供給公社派遣）斎藤武男▽いわき建設兼務解次長・業務（いわき建設次長・業務兼建築課長）佐藤公男▽監理課専門建築技師・住宅供給公社派遣（県北建設建築課指導審査係長）平形直治▽いわき建設建築課長（都市局営繕課専門建築技師兼営繕第二係長）斎藤英二▽県中流域下水道建設専門建築技師兼建築課建設課第二係長（都市局建築住宅課主任建築技師）佐々木孝男

【係長相当職】
▽管財課主任建築技師（監理課主任建築技師・都市公園協会派遣）山川栄蔵▽同主任電気技師（県南建設主任電気技師）梅宮孝博▽監理課主任建築技師・都市公園協会派遣（県北建設主任建築技師）岩瀬保吉▽土木検査課主任建築技師（県中建設同）吉田邦房▽河川課主任電気技師（監理課主任電気技師・下水道公社派遣）菅野喜代文▽都市局都市計画課主任建築技師（都市局営繕課主任建築技師）村井弘道▽都市局建築住宅課主査（県北建設主査）大内厚▽同主任建築技師（会津若松建設主任建築技師）但野広▽都市局営繕同（施設調整課同）榊枝克幸▽同主任電気技師（管財課主任電気技師）紺野智美▽同同（医科大学同）鈴木典夫▽同同（福島空港管理同）橘昭一▽医科大学同（企業局業務課同）関根盛道
▽県北建設主任電気技師（県中建設主任電気技師）中島壽一
▽県中建設主任建築技師（都市局営繕課主任建築技師）好間隆章▽同同（県中流域下水道建設同）吉田弘之▽同主任電気技師（都市局営繕課主任建築技師）鈴木英一▽県南建設主任建築技師（管財課主任建築技師）鈴木新吉▽同主任電気技師（同主任電気技師）渡辺伸一▽会津若松建設建築課指導審査係長（都市局都市計画課主任建築技師）野内忠宏
▽喜多方建設主任建築技師（喜多方建設副主査建築技師）新関永▽県北流域下水道建設課建設第二係長（医科大学主査）鈴木廣▽県中流域下水道建設建設建設課主査（都市局営繕課同）桑山一雄

【上級係員・技師】
▽道路建設課副主任電気技師（河川開発課副主任電気技師）佐久間良▽県北建設副主任建築技師（土木検査課副主任建築技師）大竹健義▽県中建設副主査建築技師（県中建設建築技師）加藤賢寿▽同同（相双建設建築技師）渋谷修▽県南建設副主任建築技師（県南建設建築技師）菅野貫夫▽福島空港管理副主任電気技師（いわき建設副主任電気技師）平子公一

【係員・事務】
▽空港建設主事（都市局建築住宅課主事）佐藤和生▽都市局建築住宅課同（県中教育事務所同）佐々木正広

【係員・技師】
▽管財課電気技師（医科大学電気技師）阿部雅彦▽監理課建築技師・兵庫県派遣（都市局営繕課建築技師）大和田茂憲▽都市局建築住宅課建築技師（都市局建築住宅課技師・兵庫県派遣）星剛▽会津大学電気技師（空港建設課電気技師）関根浩一▽県北建設建築技師（都市局建築住宅課建築技師）渡邊佳文▽同同（同同）本名仁▽喜多方建設建築技師（いわき建設建築技師）宍戸義浩▽同電気技師（都市局営繕課電気技師）後藤之夫▽相双建設建築技師（都市局建築住宅課建築技師）五十嵐浩一▽同同（会津若松建設同）齋藤雅章▽いわき建設建築技師（相双建設建築技師）鈴木洋▽県中流域下水道建設電気技師（会津若松建設電気技師）鈴木信康

直面する課題協議

郡山市で各支部から6人出席し経営部会行う

本協会の経営部会を三月六日、郡山市の郡山ビューホテルアネックスで行い、本部および支部における当面の課題について協議した。この日は各支部からの推薦者となる若き経営者の六人（福島支部・高橋輝男㈱高電社長、郡山支部・阿部晋一阿部電気工業㈱社長、白河支部・浅川誠吾㈱浅川電設社長、会津支部・新田一則㈱光電設社長、いわき支部・長谷川昇一㈱平電気工事社長、相双支部・青田純㈲青田電気商会社長）が顔を揃えこれら各地域における受注状況やその対応策（協会活動の在り方を含む）(2)新たな競争の時代へ技術・経営の向上とより良い品質の確保、より安く提供するための方策（建設産業政策大綱を参考として①技術②経営力の強化・向上③品質確保とコストダウン④安全と環境整備⑤人材育成⑥その他）(3)各支部メンテナンスの状況と今後の計画および提言(4)地方における中小企業の展望と進路（企業の生きる道を模索）(5)これからの協会運営と方向(6)各地区ごとの施工管理技士会の設立について（現在は福島・白河支部で設立されている）(7)㈳日本電設工業協会への加入検討－など逼迫する課題に熱の入った討議がなされた。

その中には各地域での競争による受注状況で厳しさが増しているとの報告がなされ、特に町村においても電気・設備が一括発注されている傾向があり、支部毎に分離発注への陳情を積極的に行っていくことを申し合わせたほか、他県からの企業参入は増していることもあり、工事完成後のメンテナンスを武器とした営業を実践してある程度の適正価格で受注していくよう求めた。部会では国体絡みの物件は無くなって過当競争は激化する一方から、自己資本の強化と共にOA関係や弱電関連での受注にも電気工事として力をいれていく（総合設備への諸段階として強電や弱電等の得手不得手をなくす）ことやソーラー発電、C・C・BOX、情報通信など新規分野への参入はもとより、入札制度の改革も進んでいることからキャドやパソコン分野への女性技術者育成が大事との見解を示した。

さらに、協会を窓口とした講習会の実施を要望する声も出ており、ハイビジョン関連の講習会をNHKの協力を得て実施する予定にあることなどが事務局から報告された。

また、施工管理技士会の設置には協会単位で支援していかないと会の充実は図れない（有資格社員の引き抜きまで考えていては前進しない）との意見が大半を占め、資格奨励制度などの検討もしていくことを詰めた。今回、将来の情報化時代と全国レベルでの情報活動の必要性から㈳日本電設工業協会への加入も検討されたが、今後の理事会や総務委員会でも協議していくと慎重を期した。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！
当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。
財団法人 東北電気保安協会
福島事業本部　福島市泉字南谷地5－6　☎(0245)57－2177
福島事業所　福島市泉字南谷地5－6　☎(0245)57－2161
原町事業所　原町市高見町2－106－5　☎(0244)22－3568
郡山事業所　郡山市富久山町久保田字田池7－1　☎(0249)32－6054
白河事業所　白河市東三坂山2－47　☎(0248)22－6066
いわき事業所　いわき市平字梅香町8－6　☎(0246)23－8815
若松事業所　会津若松市町北町大字上荒田字村北147　☎(0242)32－3350
須賀川市大字西川字後田78-5　☎(0248)72-9120

快適365日いいね、電気温水器。
おトクな深夜電力でお湯をわかします。
キッチン バスルーム 洗面所 ● 4人家族がたっぷり使って
1日の電気代は…約120円です
（8時間マイコンタイプ，タンク容量370ℓ 契約電力4kw，使用電力量430kwh／月の場合）
東北電力　お問い合せはお近くの東北電力事業所へお気軽にどうぞ。

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸
戸部電材株式会社
仙台市若林区土樋97・TEL(022)225-7511㈹
■福島営業所／福島市瀬上町字桜町3丁目12-3　☎(0245)53-8551㈹
■郡山営業所／郡山市大槻下町東52　☎(0249)61-6667㈹
■いわき営業所／いわき市好間町下好間鬼越47-1　☎(0246)36-5533㈹
■原町営業所／原町市北原字本屋敷153　☎(0244)23-6106㈹
■相馬営業所／相馬市椎木字北原104-1　☎(0244)35-6350㈹

National/Panasonic
映像・音声システム機器のプランニング のお問い合わせは…
東北松下システム㈱福島支店
〒963 郡山市図景二丁目1-11　☎(0249)23-1710
FAX(0249)23-1704

TOSHIBA　新しい技術信頼のあかり
―東芝インバーター器具・WIDE配線器具―
東芝ライテック株式会社
東北支店郡山営業所
〒963 郡山市桑野四丁目2番地2号
TEL(0249)22-5511～4

春と秋，夕暮れと夜。
1つのランプが2つの光色を持ちました。
ツインアーク
1つの外球バルブ内に水銀ランプと高圧ナトリウムランプの2つの発光管を収めた2光色発光形HIDランプ「ツインアーク」誕生
EYE 岩崎電気株式会社
郡山営業所・☎(0249)61-2292　FAX61-2265
いわき事務所・☎(0246)23-1386　FAX22-3716

支部だより

福島支部

春からもPR

福島支部では新年度を迎えると同時に各市町村へ昨年の技術資料と震災視察の資料、さらに支部の名簿等を添えてあいさつ廻りを行いました。

それぞれの市町村によっては首長にお会いすることができ、要望書をじかに提出し、分離発注をされていない町村には具体的にお願いをし、分離をされている町村には引き続いての御礼をしてまいりました。三日間にわたるハードスケジュールでしたが理事全員で行えました。

四月一日から廻ったため、各町村の行事が重なって担当者や町村長は必ず役場に在庁されていたのでタイミングはこの時期が最良でした。引き続き業界として、また支部としてPRしていきたいと思います。

郡山支部

支部会を開催

去る3月11日、ホテル・ハマツにおいて第五回郡山支部会が開催されました。

三瓶支部長のあいさつで始まり、続いて各委員会からの報告がなされました。この委員会報告では、総務委員会が三瓶支部長、広報委員会が丸山委員で、技術委員会が先崎委員、最後に経営部会が阿部社長より詳細にわたって報告があった後、渡辺支部会計から支部の中間決算報告がなされ、最後に支部長より各種便乗報告がありました。

支部会終了後は、坂本県中建設事務所長を招いての講演会を開催（写真1を参照）し「県中地方の公共事業について」という演題で講演をいただきました。講演の内容は、トライアングルハイウェイを含めた県内の高速交通体系の今後の整備と建設業法改正に伴った入札契約制度の改正が行われたことについてです。

特に業法改正については、不良不適格業者の排除を目的としている点が強調されているということです。また、優良企業の育成を主とした経審の改正が行われ、①福祉、技術力の向上に努める②収益率をあげる③管理技術者の育成④経営能力の確保－という点に経審の評点に重点が置かれているということでした。

また、建設産業政策大綱の目的は「良い物を安く提供する」という新しい競争の時代に向けて自然淘汰の時代に進む方向を示しています。「地元企業だからこそ出来るというメリットを最大限に活かして競争に生き延びる優良企業に育成する努力が必要です」と講演中は話されておられました。次に、山野辺主幹兼次長から「平成8年度営繕工事計画について」という演題で講演があり、8年度県中地区予算は営繕工事35億、住宅関連8億で計43億円ということで、電気設備関連工事では県中地区8高校の改修工事や住宅建設では柴宮団地や亀田団地の建替、東部ニュータウン新築などの工事概要が発表され、私達支部会員の今後の目安となる講演内容でした。

坂本所長、山野辺次長には年度末の慌ただしい時期に私達郡山支部会員の為に大変貴重な講演を戴き有り難うございました。この紙上をお借り致しまして厚くお礼申し上げます。また、坂本所長におかれましては、後日発表されました県の定期人事異動で土木部業務次長にご栄転されましたこと、御目出度うございます。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

白河支部

官民懇談会行う

各地から桜の便りが届いておりますが、今年は寒さが厳しかったようで白河地方は開花が遅れているようです。

先頃、県南方部官民懇談会がホテルサンルートにて開催され、先ず第一部として現状報告があり、塙町長の二瓶隆男様はじめ、各団体からの発言があってそれぞれの現状が話されました。第二部としては講演があり、講師として㈶福島県技術センター理事長・江花亮様から〝県南地域の近未来へのアプローチ〟として講演戴き、各機関からも多数の出席があり盛大に開催されました。

また、支部例会を協会から正副会長らを招いて開催し、協会に我々の現状を直に話すことができ有意義な例会でした。

いわき支部

人づくりに終身教育

いわき方部でもこの冬は例年よりも寒さが厳しかったせいか冬が長く感じられましたが、ようやく春を思わせる暖かい日差しが降り注ぐようになりました。

昨年は五年越の不況でありましたが、当地域においては公共工事と大型店舗法の改正により大型店の出店ラッシュなどもありまして何とか年を越すことが出来ました。しかし我々地元業界からみますと大変な課題を残したのではないでしょうか。

不況の中の大型工事とはいえ電気使用の安全と施工技術の研鑽、工事積算価格の下落などの反省すべきことが多くみられたように思います。

平成八年度は七年度から一層厳しさが予想されますが、先程支部会議を開催しまして新年度の対応計画などを話し合う中で、雑談しながら最近の若者は日本人の大和魂を知らずインターナショナル化してきたように見受けられるので、礼儀作法をもっと身につけた思いやりのある人づくりに向けて、終身教育など取り入れた会議を多く計画し和気あいあいの一時を過ごしました。

相双支部

専門校で教鞭

相双地方の新しい教育の場として開校した福島県立浜高等技術専門校（通称・テクノカレッジ浜）より相双支部に非常勤講師の依頼がありました。当支部としては大変に名誉なことであり、喜んでお受けした次第です。

既にご存じのように福島県立浜高等技術専門校は、平成五年度より二カ年継続で建設され、モダンな校舎に宿舎も整い、あらゆる地域からも対応できるように相双地方では最大の設備を整えており、今年の四月から開校の運びとなって入学倍率も高く大変な難関だと聞いております。

この建設工事に当たりましては、我々相双支部会員の業者が施工に携わり、地域一丸となって建設の完成に勢力を傾けてまいりました。

今回、名誉ある非常勤講師の依頼の人選として旭電設工業㈱の佐藤重夫工事部長、早川電気工業㈱の太田正秀工事部長のお二人が候補としてあがっております。これからの一年間、新しくなった福島県立浜高等技術専門校で教鞭をふることとなります。お二人の豊かな経験を活かし、これから学ばれる生徒たちに現場からみた生の知識を存分に発揮され、素晴らしい授業が行われることと楽しみに致しております。

会津支部

光ケーブル学ぶ

ここ暫く無かった大雪と、何回もあるなごり雪もおさまり、会津の春を告げる彼岸獅子が町を訪れました。会津支部からは年度末に行われました行事を報告します。

官民懇談会が方部別に開催され参加してまいりました。会津若松（2月6日）、南会津（2月21日）には萩生田支部長が、喜多方方部（2月20日）に河井支部員が出席してまいりました。

各役場の首長はじめ担当課長、建設事務所長、林業事務所長、農地事務所長らと各団体が一同に介する機会を今年も用意していただき感謝しております。これを受けまして支部として陳情などにも結びつけていこうと思っております。

また、今年度支部事業として会津支部の技術講習会を二月二十一日に開催しました。

〝光ケーブルの応用と今後の展望〟ということで住電ケーブルの方々を講師に招いて市内のホテルニューパレスを会場に会員三十五名の出席と会津若松市の設備係長、さらに若松建設事務所から設備の佐藤技師にも参加いただいた講習会となりました。

光ケーブルとは？から始まって歴史、今後の展望、そして現場の布設の変遷、最新の布設方法、接続技術の説明と実演、測定器械、接続機械の展示と、手にとっての講習はとても楽しい、あっと言う間の三時間でした。

技術講習会の後は、建設事務所より原次長や渡辺課長、深谷係長をお招きしての懇談会となりまして有意義な講習会となりました。

協会の動き

1月

5日・年始挨拶廻り（正副会長,各支部長）
　・第6回総務委員会／電協会館
8日・新年知事招待（会長）／知事公館
10日・㈳県建産連平成8年度賀詞交歓会（正副会長）／ホテル辰巳屋
　・㈳県建産連正副会長会議（会長）／ホテル辰巳屋
12日・賀詞交歓会会場打ち合わせ（会長,専務）／福島ピューホテル
　・建築三団体合同新年会（会長）／ホテル辰巳屋
17日・第14回中堅技術者研修会打ち合わせ(三瓶副会長,鷲技術委員長,専務）／電協会館
19日・福島職業安定所建設（電気設備）の陳情（会長, 佐藤副会長, 福島支部長, 専務）／電協会館＝根本匠衆議院議員
23日・新春トップフォーラム〝夢〟ーク東北（会長）／仙台国際ホテル
25日・新年賀詞交歓会ならびに新春講演会(全会員)／福島ピューホテル
26日・第2回福島県公共建築・住宅連絡会幹事会（三瓶副会長, 専務）／建設センター
27日・〝うつくしまふくしま〟県民運動推進大会(いわき支部)／平市民会館

2月

2日・第7回総務委員会／電協会館
　・佐藤栄佐久福島連合後援会新年会（会長）／ウェディングエルティ
13日・第14回福島建築文化賞表彰式（専務）／杉妻会館
15～16日・第14回中堅技術者研修会（会長, 三瓶副会長, 各技術委員, 各会員）／みちのく荘
17日・佐藤剛男連合後援会新春の集い（専務）／ウェディングエルティ
19日・㈳県測量設計業協会通常総会（専務）／ホテル辰巳屋
20日・㈳県建産連　副会長会議(会長)／建設センター
22日・㈳県建築士事務所協会通常総会（会長）／杉妻会館
23日・官民懇談会（福島支部）／福島グリーンパレス
　・県設備設計事務所協会通常総会（会長）／セレモニーホールフロンティア
29日・官民懇談会(郡山,白河,相双支部）

3月

4日・技術懇談会（会長, 三瓶・中島副会長, 各技術委員, 専務）／ホテル辰巳屋
5日・福島空港滑走路延長工事電気設備の陳情（正副会長, 専務）／県庁
　・東北電力配電工事協力会移動役員会懇談会（会長）／ホテル辰巳屋
6日・経営部会（正副会長, 各経営部会委員）／郡山アネックス
7日・(仮称)県首都機能移転促進協議会設立総会（専務）／郡山ビューホテル
12日・白河支部例会（会長, 三瓶・中島副会長, 専務）／白河市
17日・新進党県連合会結成1周年記念パーティ(三瓶副会長)／ホテルハマツ
19日・第8回正副会長会　／電協会館
22日・第3回県公共建築住宅連絡会（会長, 三瓶副会長, 専務）／建設技術会館
　・産業見本市会館（仮称）建設工事の陳情（会長, 専務）／県庁
　・あぶくま高原自動車道建設事務所整備事業の陳情（会長, 専務）／県庁
25日・建設センター会館建設の陳情（会長, 佐藤副会長, 高橋支部長）／建設業協会
26日・東電サッカー場建設事業（電気設備）工事について㈱関電工東北支店に要望（佐藤副会長,専務）／㈱関電工東北支店
29日・㈳県建産連第44回理事会（会長）／建設センター

TOGAMI ELECTRIC
波及事故防止のために、GR付開閉器の取り付けをお奨めします。
NEW スリムになりました GR付PAS KLT－M形
■小形・軽量を実現！（容積比で1/2・重量比で2/3）
■耐雷性能の向上
■電力機構の採用（完全ドックル電力機構の採用により"入""切"操作が確実）
■耐食性の向上
株式会社 戸上電機製作所
東北支店 仙台市青葉区中央1丁目2-3 第1ビル ☎022(261)2261 FAX.022(261)2263

電気技術綜合コンサルタント!!
自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。
社団法人 東北電気管理技術者協会
福島県支部 いわき市勿来町関田和久2-1 ☎(0246)64-8694
福島電気管理センター 福島市笹谷字桜水37-4 ☎(0245)57-5877
いわき電気管理センター いわき市平赤井字比良2-20 ☎(0246)21-5516
若松電気管理センター 会津若松市居合町7-30 ☎(0242)22-4062
原町電気管理センター 原町市牛越字下川原68 ☎(0244)22-2297
郡山電気管理センター 郡山市逢瀬町河内申久保55 ☎(0249)57-3080
事業本部：仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレシーザル仙台ビル ☎(0222)61-6015

配分電盤専業メーカー
営業品目
屋内外キュービクル・高低圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤
株式会社 福陽電機製作所
福島市天神町10番41号
TEL0245－34－1528　FAX0245－33－8590

照明器具・配線器具・開閉器・換気扇・配電機器
電線・電線管及び付属品・電設資材全般卸
地域と共に歩む
東北東芝電材株式会社
福島営業所 ☎(0245)53-4165
相馬営業所 ☎(0244)36-8901
郡山営業所 ☎(0249)34-3065
須賀川営業所 ☎(0248)72-7260

FURUKAWA 配電盤 制御システムメーカー
古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 松田貴充
福島県郡山市若葉町11-23・☎(0249)34-0859
FAX(0249)34-0861
本社：仙台市青葉区二日町6－12
仙台工場：仙台市宮城野区扇町2－1－10
支店・営業所：仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤
ワイム
株式会社山形電機製作所
福島営業所　所長 高橋実
福島市大森字宮ノ前55-14 〒960-11
TEL(0245)46-1321 FAX(0245)46-1322
支店・営業所／東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工場／山形・北海道千歳